

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	保育所等訪問支援 じょいん			
○保護者評価実施期間	2026年3月1日		～ 2026年3月20日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数)	5
○従業者評価実施期間	2026年3月1日		～ 2026年3月20日	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)	4
○訪問先施設評価実施期間	2026年3月1日		～ 2026年3月20日	
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	2
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月21日			

○ 分析結果

	事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問先や家庭状況に応じた柔軟な支援ができています。	訪問前後の打合せや記録共有により支援内容の統一と改善を図っている。	支援計画や助言内容の具体性を高め分かりやすく伝える。
2	多職種や関係機関と連携した支援体制が整っている。	具体例を用いた助言や説明を心がけている。	訪問後の振り返り共有を整理し継続的改善につなげる。
3	研修や振り返りを通じ支援の質向上に継続して取り組んでいる。	安全管理や個人情報保護の徹底に努めている。	家族支援や情報提供機会を増やし連携体制を強化する。

	事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援内容や計画意図が十分伝わりにくい場面がある。	関係者が多く情報共有の機会確保が難しい。	支援内容や計画意図を具体例で説明し共有方法を整える。
2	家族支援や交流機会の実施機会が限られている。	訪問頻度が限られ支援経過を十分伝えきれない。	関係機関との連携手順を整理し役割分担を明確にする。
3	支援効果の共有方法にばらつきがある。	説明方法や支援手順の標準化が不十分な部分がある。	研修や事例検討機会を確保し専門性向上を図る。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名	保育所等訪問支援 じょいん				公表日	2026年 3月 31日		
					利用児童数	16	回収数	5
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	3	0	0	2			
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	5	0	0	0			
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	3	1	0	1			
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	3	0	0	2			
適切な 支援の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	3	0	0	2			
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3	1	0	1			
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2	1	1	1	計画が子どもの課題に合っているかわかりにくい。	アセスメント根拠や計画意図を丁寧に説明し、納得感のある計画作成に努める。	
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	2	1	0	2			
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2	1	1	1	支援内容が具体的にイメージしにくい。	支援内容を具体例で示し、計画のねらいと実施内容が伝わるよう工夫する。	
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3	0	0	2			
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	4	0	0	1			
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	3	1	0	1			
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4	1	0	0			
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	2	0	0	3	家族向け情報提供の機会を増やしてほしい。	家族向けの情報提供や助言機会を増やし、参加しやすい形を検討する。	
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	3	2	0	0			
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3	1	1	0			
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2	1	1	1			
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3	2	0	0			
19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4	1	0	0				
20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	3	0	0	2				

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	3	0	0	2	訪問先との話し合い内容を共有してほしい。	訪問後の話し合い内容を整理し、保護者にも分かりやすく共有していく。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	2	2	1	0		
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3	1	0	1		
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4	1	0	0		
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	4	1	0	0	緊急時の連携体制が見えにくい。	緊急時対応の流れを訪問先と共有し、保護者にも分かりやすく周知する。
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3	0	0	2		
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	4	1	0	0		
	28	事業所の支援に満足していますか。	3	2	0	0		

公表	訪問先施設からの事業所評価の集計結果
----	--------------------

事業所名	公表日	2026年 3月 31日
保育所等訪問支援 じょいん	利用児童数	16 回収数 2

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	2	0	0		
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	2	0	0		
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	2	0	0		
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	1	1	0		
5	事業所からの支援に満足していますか。	2	0	0		
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		保育所等訪問支援 じょいん		公表日		2026年 3月 31日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境 ・ 整備 ・ 運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	4	0	これまで担当者中心で対応していたため、詳細な状況の把握が十分ではありませんでした。	教材の選定基準や活用状況の共有体制を整備し、支援の見える化を進める必要がある。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0			
業務 改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	1			
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0			
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1	これまで担当者中心で対応していたため、詳細な状況の把握が十分ではありませんでした。	定期的な意見聴取や会議の機会を設け、改善につなげる仕組みづくりが必要。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1			
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2	2			
適切 な 支援 の 提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	4	0			
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	1			
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	4	0			
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	1			
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1			
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	1			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	1			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	1	気づきがあった時点で、職員と共有する。	振り返りの時間確保や共有方法の標準化を行い、支援改善へ確実に反映する必要。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	4	0			
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	4	0				

関係機関や保護者との連携	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0		
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0		
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0		
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0		
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2	2		
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2	2		
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0		
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1		
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0		
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	4	0		
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0		
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	4	0		
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4	0		
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	2		
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	1		
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0		
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0		
訪問先施設への	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	4	0		
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	4	0	していたと思う/これまで担当者中心で対応していたため、詳細な状況の把握が十分ではありませんでした。	実施状況の確認体制を整備し、記録や共有ルールの明確化が必要。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	4	0		

説明等	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	4	0		
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	家族周知は不十分/これまで担当者中心で対応していたため、詳細な状況の把握が十分ではありませんでした。	保護者への説明機会の設定や資料整備を行い、周知体制を強化する必要がある。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	1		
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	1	ヒヤリハットは作成されていない	記録様式の作成と共有ルールの確立により再発防止体制を構築する必要。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	1		
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	1		